

## ベルリン映画祭 EFM リポート

今回、オンライン上でしたが、ベルリン映画祭の EFM に参加して、海外映画祭の関係者の人たちやヨーロッパのプロデューサーにお話をお聞きできて学ぶことがたくさんありました。

一つ実感したのは、海外映画祭にトライするには、マストではないかもしれませんが、映画祭関係者に信頼されている海外のセールスエージェントがついていることが有利であることを実感しました。また早めの段階でセールスエージェントに見ていただいて、映画祭エントリーへの傾向と対策を立てていた方がよいことを実感しました。今、次回作「ワタシの中の彼女」をフランスのセールスエージェントに検討していただいています。またプログラマーを知っている方が、もちろんちゃんと見ていただくことができるかなと思いました。ハードルは高いと思いましたが、「ワタシの中の彼女」をカンヌの Benjamin さんにお送りさせていただきました。

セミナーでは Film Republic の Xavier さんのお話が特に勉強になりました。実際に「親密な他人」を見てもらって、セールスを検討していただきましたが、ちょっと彼らの求めているものと違うということだったので、また次回作を見ていただこうかなと思います。

また海外との共同制作には、まだ色々とハードルがありますが、日本側に信頼されているプロデューサーがついていて、ある程度、予算が見えていることが大事なようなので、そこも考えるべきところだなと思いました。今、ちょうどアメリカを舞台に構想している企画があるのですが、アメリカだと助成金もないので、中々、大変だというアドバイスをいただきました。

今年の 11 月に American Film Market に新しい企画で参加する予定なので、今回、学んだことを活かせればと考えています。

中村真夕